

参考事例3

< 事例概要 >

- ①40 歳代、右変形性股関節症に対し寛骨臼回転骨切り術後の入院患者。
- ②術後の定期採血。D-dimer のパニック値の設定有。
- ③術後17日目にD-dimer が64.3  $\mu\text{g/ml}$ と上昇したため看護師は医師に報告した。術後D-dimer が15  $\mu\text{g/ml}$ 以上は、静脈エコー検査を行い深部静脈血栓症の検索を行うことになっていたが、検査を実施しなかった。患者はリハビリテーション後にショック、心停止となった。
- ④急変より約 2 時間後（パニック値検出当日）に死亡。
- ⑤死因は、肺血栓塞栓症による急性循環不全。死亡時画像診断（Ai）有、解剖有